

太陽光、風力、バイオマス、小水力発電など自然エネルギーについて検討 沼田市自然エネルギー研究会がスタート

沼田市にとって太陽光や風力、バイオマス、小水力発電など、自然エネルギーの活用について研究をすすめる「沼田市自然エネルギー研究会」が7月22日、設置されました。

研究会には9人の公募委員や有識者2人、市の課長、県企業局職員など20人で構成されています。

1年間の予定で調査・研究、検討をおこない、沼田市にとって活用が可能で、適した自然エネルギー源の調査・研究、検討をすすめる予定です。



グリーンベル21の1階に生鮮食品店が出店か？

2階から5階に衣料品、生活雑貨、家具家電、福祉施設などテナント誘致も開始

新聞の折り込みチラシに「今秋、「沼田マルシェ」開店！！」のチラシが入り、飲食店業、ホテル、旅館の運営管理業、結婚式場の運営管理のコンサルなどおこなう「EATバイテックJAPAN株式会社」がグリーンベル21の1階に生鮮食料品店の出店を計画していることが明らかになりました。



2階から5階についても衣料品、生活雑貨、家具家電などのテナントの誘致をすすめる予定です。

市には会社からの説明はなく、今の時点で市は事業計画などを把握していません。

戦争の誤りをくり返さないために力を合わせましょう 大東議員が終戦記念日に街頭から訴える

大東議員は15日の終戦記念日に街頭から「日本が二度と戦争の誤りをくり返さないよう力を合わせましょう」と訴えました。

話を聞いていた人から「こうした地道な活動が大切」と激励を受けました。



夏の思い出 鱒のつかみ取りに盆踊り 上原町で納涼会 白沢町で盆踊り

上原町育成会は、恒例の納涼会を13日と14日に利根沼田文化会館駐車場で開きました。

13日には鱒のつかみ取りもおこなわれ、子どもたちが元気に鱒を追いかけていました。



上原町納涼会の鱒のつかみ取り白沢町盆踊りが14日、白沢町振興局駐車場でおこなわれ、模擬店なども出店し、帰省した人が久しぶりに会う友人と、楽しくすごしていました。



白沢町の盆踊り
2012年8月19日

NO. 317

日本共産党 大東のぶゆき議員活動地域後援会ニュース

やまびこ

発行所 沼田市下久屋町983 Tel.23-1519 部内資料



年金給付の削減、年金支給開始年齢の引き上げの検討、医療・介護の負担増などで、増税法案には大企業の法人税をさらに引き下げる条項が入り、増収分を公共事業に投入する条項までもぐりこませるなど、3党談合は、公約違反とウソの共同正犯であり、選挙で増税談合3党にきびしい審判を下しましょう。

民主党政権は、「消費税増税は社会保障充実のため」「消費税の収収はすべて社会保障に充てる」と説明していましたが、政府が社会保障と税の「一体改革」に盛り込んだのは、国民の多数が反対し、国民のくらしと中小企業、零細業者の営業を脅かし、脆弱な内需に決定的な打撃を与える法案を、3党は国民に隠れ、密室談合をくり返し押し通しました。民主党は、「消費税増税は社会保障充実のため」「消費税の収収はすべて社会保障に充てる」と説明していましたが、政府が社会保障と税の「一体改革」に盛り込んだのは、国民の多数が反対し、国民のくらしと中小企業、零細業者の営業を脅かし、脆弱な内需に決定的な打撃を与える法案を、3党は国民に隠れ、密室談合をくり返し押し通しました。

衆議院通過後も国民の過半数が法案そのものに反対し、今国会での採決にはさらに多くの国民が反対していました。

こんにちは 大東のぶゆき です

ぶらり散歩 めまた道 利根町 その六十 根利山 砥沢

根利山が開かれた当時、どれだけの人々が山にいたかははっきりしませんが、「利根村誌」には、大正14年(1925)9月末の従業員数が829人だったと記載されています。



駐在所跡

「根利山会」の会報誌の特集号「根利の歴像」には、明治42年(1909)8月に砥沢、平滝に分教場が開かれ、翌年の生徒数は砥沢が69人、平滝が61人と記載されていることから、明治末ごろにはすでに1500人から2000人がくらしていたと考えられます。



事務所跡

砥沢には、駐在所があり、無医村が多い時代でしたが、砥沢と平滝には医局があり医師が常駐していました。

足尾の専念寺の説教所が砥沢に置かれ、亡くなった人は山で荼毘に付されました。